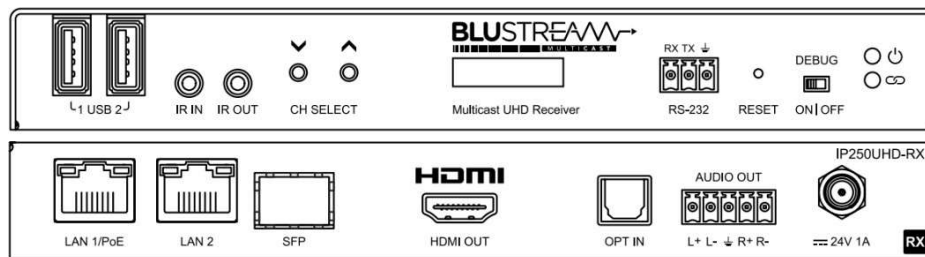


Dante 対応

マルチキャスト UHD レシーバ

IP250UHD-RX

取扱説明書



改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver.1.0	2023/12/8	初版
Ver.1.1	2025/12/26	PoE 802.11af→PoE 802.3afに修正、ACアダプター取扱無し

安全上のご注意

この度は、IP250UHD-RX をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえにご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びつくもの。

本取扱説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

	操作に関するヒントまたは追加情報です。
---	---------------------

**警告**

- 本使用上の注意・保証書で記載されている以外の使い方をしないでください。本使用上の注意・保証書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶつけたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 本製品背面にあるSFPスロットは手などを切らないようご注意のうえ、お取り扱いください。
- SFPモジュールを装着したときは、光源をのぞきこまないでください。レーザー光線が目に入ると、視覚に障害を及ぼすおそれがあります。
- LANケーブルやオーディオケーブルなどケーブル類を抜き挿しする場合は、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。

**警告**

- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合、ほこりをきれいに拭き取ってください。感電や火災の恐れがあります。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などかからないようご注意ください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止してください。
- 使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止してACアダプター、およびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

**注意**

- 電源を入れたまま、オーディオケーブル、LANケーブル、HDMIケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
- LANケーブルをご利用の際はケーブルの裂け目にご注意ください。ノイズの原因となり、通信を大きく阻害します。
- LANケーブルを束巻き状態で使用すると伝送に影響が出ることがございます。伸ばした状態でご利用下さい。
- SFPモジュールの取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、SFPモジュール本体を装置の方向に指で押し込み、SFPモジュールを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、SFPモジュール故障の原因となります。
- スピーカーケーブルは高品質なプロ用スピーカーケーブルをご利用ください。
- 接続するHDMIケーブルは長さ5m以下のものをご利用ください。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。

**注意**

- ラックなどに設置するとき、放熱を妨げないように、本製品と他の機器の間に隙間を空けてください。
- 本製品両側の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。でお手入れの際、乾いた布をご利用ください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に關してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	6
はじめに	6
Blustream マルチキャストシステム	6
製品のラインナップ	6
Blustream マルチキャスト用ネットワークスイッチ要件	6
推奨ネットワークスイッチ	6
PoE 電源供給計算	7
アップリンク接続	7
Dante オーディオ用ネットワークスイッチ要件	7
接続図	8
MODE 0 設定時接続例	8
MODE 1 設定時接続例	9
本体の取付	9
専用マウントブラケット取付	9
EIA ラックマウントブラケット(別売り)の取付	10
各部名称	11
接続ケーブル	12
LAN ケーブル	12
SFP モジュール	12
HDMI ケーブル接続	13
オーディオケーブル接続	14
IR 送/受信ケーブル接続	14
USB 接続	14
シリアル(RS-232)通信接続	15
本体操作	15
電源を入れる/切る	15
ステータス情報の確認	16
入力ソースの切り替え	16
リモコン(別売り)で入力ソースの切り替え操作	17
Dante コントローラー ソフトウェア	18
概要	18
ダウンロード先	18
本機の検知	18
詳細設定	19
よくある質問 FAQ	19
主な仕様	21
外形寸法	23
サポート専用問い合わせ先	23

製品概要

Dante 対応 Blustream UHD マルチキャストレシーバです。

はじめに

Blustream マルチキャストシステム

Blustream UHD マルチキャストは 1Gb イーサネットネットワークを活用し、4K HDMI 信号を低遅延で伝送するマルチキャストシリーズの製品です。独自ロスレス圧縮技術を採用し、HDMI、IR、RS-232、USB/KVM、Dante オーディオ信号を最大 100m、LAN ケーブルを使用して伝送します。ネットワークスイッチを介したマトリックス伝送やビデオウォール表示構成、1 対 1 伝送、および 1 対多伝送が可能です。

製品のラインナップ

- Dante オーディオ非対応モデル: IP200UHD-TX(送信機)、IP200UHD-RX(受信機)
- Dante オーディオ対応モデル: IP250UHD-TX(送信機)、IP250UHD-RX(受信機)
- アドバースドコントロールモジュール: ACM200(IP200UHD、IP250UHD 混在可能)

Blustream マルチキャスト用ネットワークスイッチ要件

ネットワークスイッチの採用検討をする際は、以下のネットワーク機能をサポートしていることを確認してください。

- マルチキャスト
- インスタントリーブ/ファストリーブ/イミディエイトリーブ
- IGMP スヌーピング
- ジャンボフレーム/ジャンボパケット/ MTU(最大伝送ユニット)
- 省電力モード(例:Energy Efficient Ethernet)を確実にオフ可能(PoE 電源供給使用時)^{※1}

推奨ネットワークスイッチ

- NETGEAR 製 M4250 シリーズ(PoE 対応モデル)
- Cisco 製 CBS350 シリーズ(PoE 対応モデル)

※1 PoE(Power over Ethernet) ネットワークケーブルを通じて電力供給を行う技術の一種です。PoE を使用すると、同じケーブルを通じてデバイスに電力を供給することができます。

PoE 電源供給計算

Blustream UHD マルチキャスト各デバイスの消費電力は下記の通りです。ポートごとに十分な電力を供給できるネットワークスイッチをご利用ください。

IP200UHD-TX(送信機)、IP200UHD-RX(受信機)	約 10W
IP250UHD-TX(送信機)、IP250UHD-RX(受信機) ^{※2}	約 13W
ACM200(アドバイスコントロールモジュール)	約 6W

アップリンク接続

Blustream UHD マルチキャストデバイス通信時使用する帯域幅は下記の通りです。ネットワークスイッチ間を接続するアップリンクポートの帯域幅を考慮し、マルチキャストシステムの設計を行ってください。^{※3}

機種	4K 映像信号伝送時	1080p 映像信号伝送時
IP200UHD-TX(送信機)	最大 900Mbps	最大 500Mbps
IP200UHD-RX(受信機)	常用400Mbps	常用300Mbps
IP250UHD-TX(送信機)、 IP250UHD-RX(受信機)		

ご注意

Blustream マルチキャストシステム運用時は、全てのデバイスを同一 VLAN 内に運用してください。異なるVLAN 間の通信には対応していません。

Dante オーディオ用ネットワークスイッチ要件

Dante ネットワークを構成するには以下の要求を満たすネットワークスイッチが必要となります。

必須要件

- 1Gbps 対応ノンブロッキングネットワークスイッチ(レイヤー2 以上)であること
- 省電力モード(例:Energy Efficient Ethernet)を確実にオフできること
- 4 つのキューを持つ QoS(Quality of Service)に対応すること
- DiffServ(DSCP)QoS に対応すること

推奨要件

- マネージドスイッチ
- DHCP に対応していること
- IGMP Snooping v2/v3 に対応していること

詳しい要件は Audinate 公式ページにてご確認ください。

<https://www.audinate.com/learning/technical-documentation?lang=ja>

※2 IP250UHD-RX に USB マウス、キーボードのみ接続してください。消費電力が高い USB デバイスを接続すると、IP250UHD-RX が再起動する場合があります。

※3 48kHz 2ch Dante オーディオは6Mbps(ユニキャスト)帯域幅を使用します。

接続図

IP250UHD-RX は 2 つの通信モードに対応し、各ポートの通信データの種類は下記の通りです。

ポート	LAN 1/SFP※4	LAN 2
MODE 0	AV over IP + Dante	-
MODE 1	AV over IP	Dante

用途に応じて、モードを設定して運用してください。

MODE 0: マルチキャストと Dante オーディオを同一ネットワークスイッチでの運用

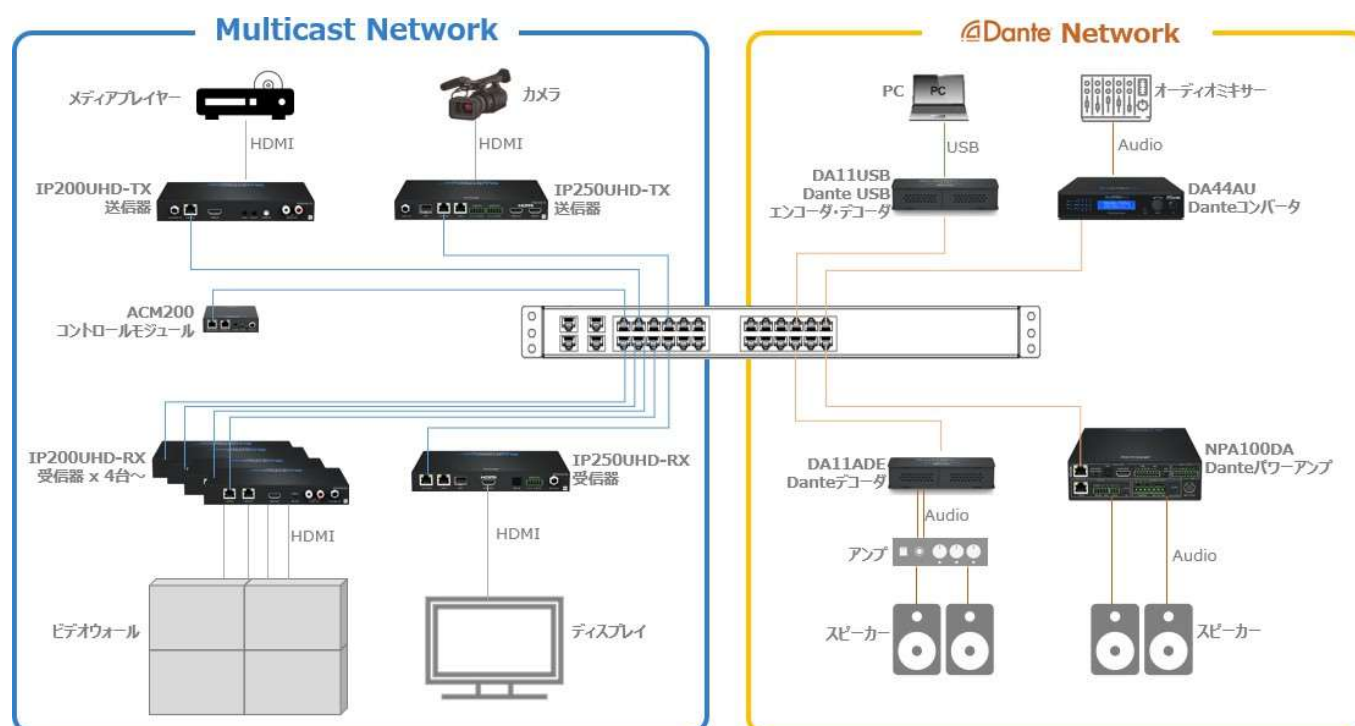
MODE 1: マルチキャストと Dante オーディオを別々のネットワークスイッチでの運用

重要

SFP モジュールに使用する光ファイバーケーブル、延長距離などについて、各 SFP モジュールメーカーにご確認ください。

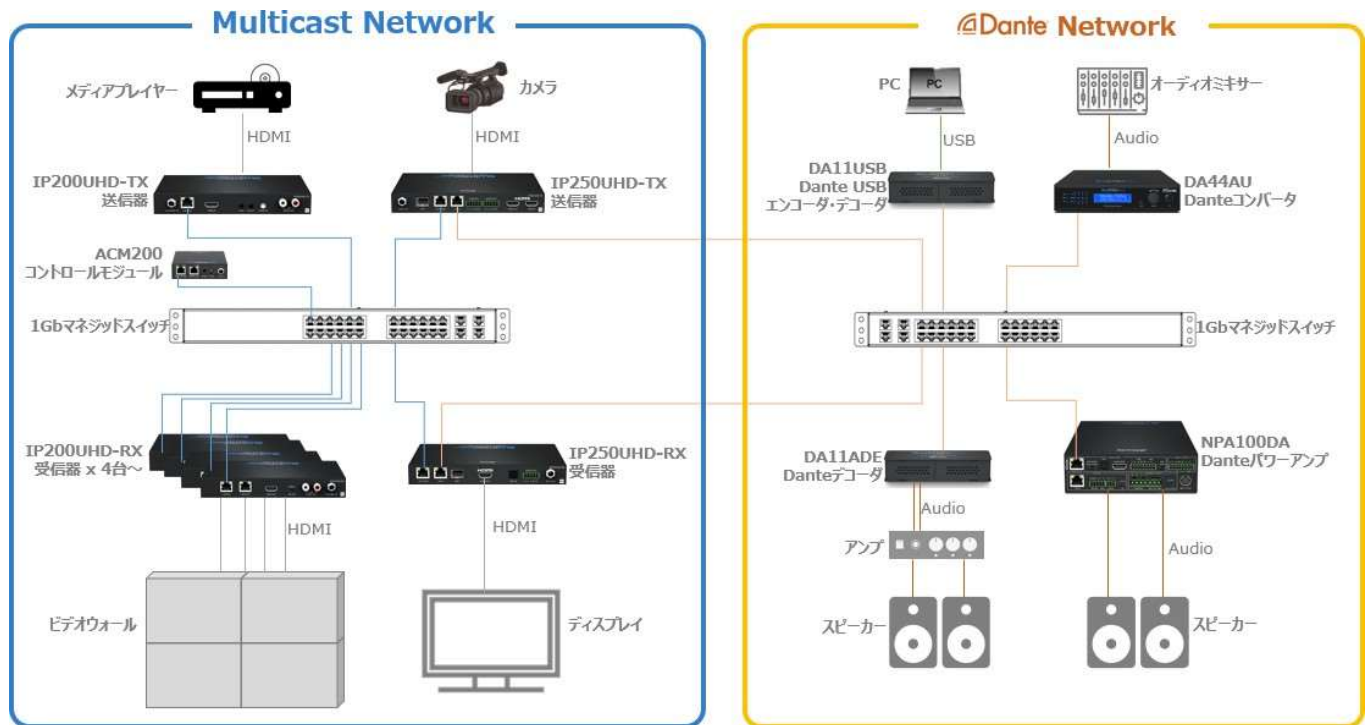
通信エラーが生じる可能性があるため、LAN ケーブルと SFP モジュール・光ケーブルを同時接続しないでください。

MODE 0 設定時接続例



※4 LAN 1/PoE と SFP ポートは相互に排他動作しますので、同時に使用することができません。

MODE 1 設定時接続例

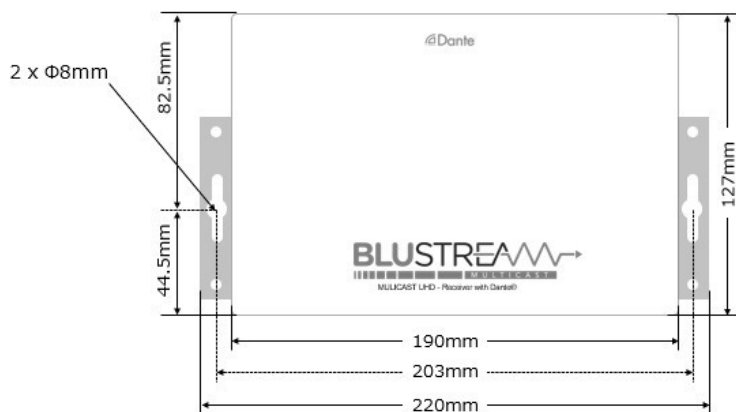


本体の取付

専用マウントブラケット取付

付属のマウントブラケットをネジ(付属)で下図のように、本体の側面に取り付けます。

本機底面

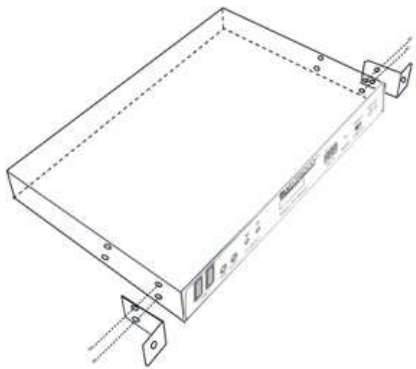


EIA ラックマウントブラケット(別売り)の取付

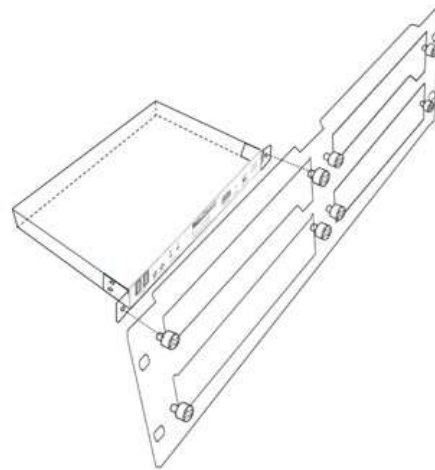
本機は別売りラックマウント取付キット(型番:RSU-2RU)を使用して EIA ラックマウントに取付することができます。

取付方法

本機に専用金具を取付後、ラックマウントブラケットに本体を取付けます。RSU-2RU に 4 台の IP250UHD-TX/RX または IP200UHD-TX/RX を取り付け可能です。



本体に専用金具を取付る



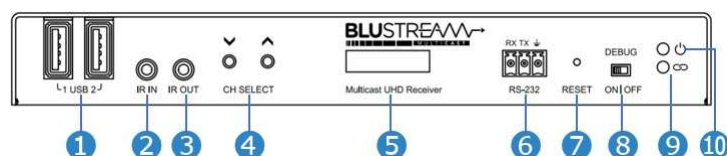
ラックマウントブラケットに本体を取付る

ご注意

- 通気性の良い場所に設置してください。
- 本機の上下左右パネルにある排熱口をふさがないでください。
- 密閉型ラックに取り付けることを避けてください。
- 移動式ラックケースに取り付ける際、ケースの前後両面のふたを外し、本機の前後面をふさがないようにしてください。

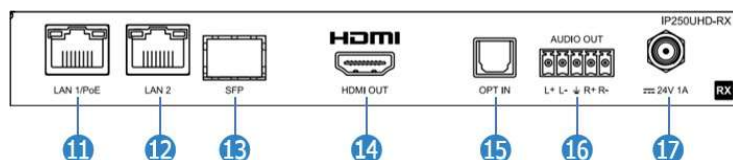
各部名称

前面



番号	表示	説明
①	USB 1/2	USB タイプ A 端子です。USB デバイスを接続します。※ ⁵
②	IR IN	IR 信号受信 3.5mm ステレオジャックです。付属の 5V IR 受信ケーブル(IRR)を接続します。
③	IR OUT	IR 信号送信 3.5mm モノラルジャックです。付属の 5V IR 送信ケーブル(IRE)を接続します。
④	CH CELECT	選択ボタンです。入力ソースの切り替えを含む操作を行います。詳細は本書 P.15 本体操作 を参照してください。
⑤	ディスプレイ	ステータス情報を表示します。※ ⁶
⑥	RS-232	3 ピンターミナルブロック端子です。付属の 3 ピンターミナルブロックを加工して、ご利用ください。
⑦	RESET	リセットホールスイッチです。6 秒以上押し続けると、本体がリセットされます。
⑧	DEBUG ON/OFF	サービス用 DEBUG モード切り替えスイッチです。常時に OFF にして運用してください。
⑨		通信ステータス情報インジケータです。青色点滅：通信中※ ⁷
⑩		電源インジケータです。青色点灯：電源オン※ ⁶

背面



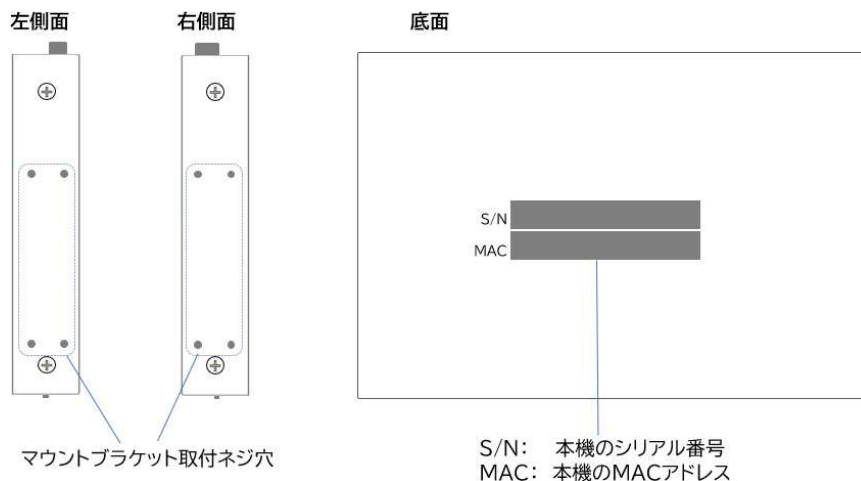
番号	端子/ポート	説明
⑪	LAN 1/PoE	PoE 対応 RJ-45 ポート(1000Mbps)です。接続先は本書 P.8 接続図 を参照してください。※ ⁸
⑫	LAN 2	PoE 非対応 RJ-45 ポート(100Mbps)です。接続先は本書 P.8 接続図 を参照してください。
⑬	SFP	SFP ポート(1000Mbps)です。SFP モジュールを差し込みます。対応SFP モジュールは本書 P.12 SFP モジュール を参照してください。※ ⁸
⑭	HDMI OUT	HDMI タイプ A 端子です。HDMI ケーブル経由でディスプレイに接続します。
⑮	OPT IN	光デジタル Toslink 入力端子です。Dante オーディオへのエンコードのみに使用します。
⑯	AUDIO OUT	5 ピンターミナルブロック端子。付属の 5 ピンターミナルブロックを加工し、オーディオ再生機器に接続します。
⑰		電源入力端子です。(ACアダプターは付属・販売しておりません。)を接続します。

※⁵ 接続する USB デバイスの消費電力は 5V 300mA 以下(合計値)であることをご確認ください。

※⁶ 前面ディスプレイ素材は OLED であるため、常時点灯設定は推奨しておりません。

※⁷ 通信開始してから約 90 秒後に消灯する初期設定となっています。ACM200 ウェブ GUI で常時点灯に設定可能です。

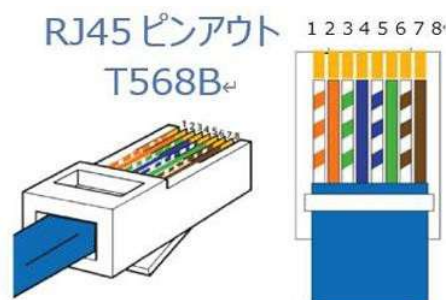
※⁸ LAN 1/PoE と SFP ポートは相互に排他動作しますので、同時に使用することができません。



接続ケーブル

LAN ケーブル

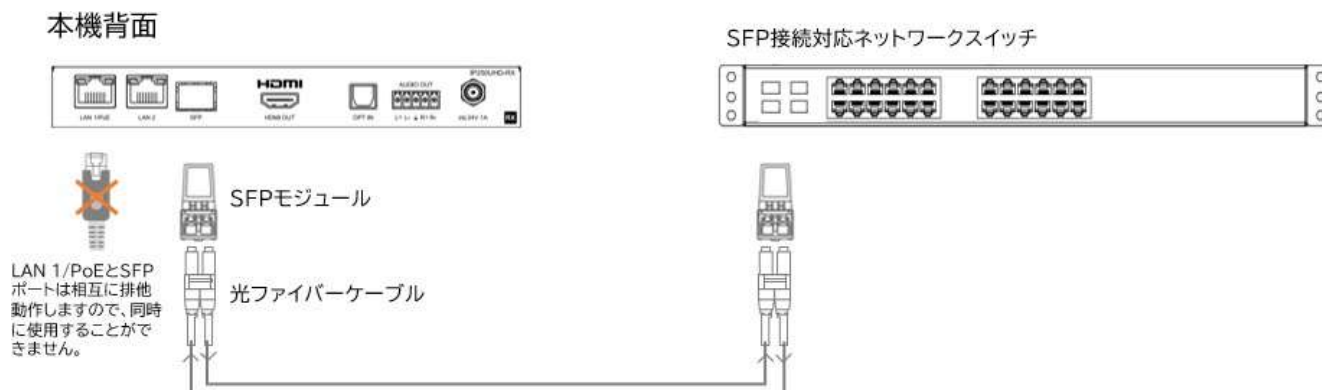
本機は Cat5e/6 に対応しています。接続する LAN ケーブルは、Cat6 を推奨します。また、正しい RJ-45 ピン構成で終端してください。LAN ケーブルは「ストレート」（ピン対ピン）、EMI 電磁干渉の影響を受けにくい T568B 結線規格で配線することを推奨します。LAN ケーブルを敷設するには、できるだけ高品質な LAN ケーブルを採用することをお勧めします。



SFP モジュール

本機をネットワークスイッチに接続には、LAN ケーブル以外に、SFP モジュール、光ケーブル経由での接続にも対応しています。

UL 認定のオプションの DLC タイプトランシーバー製品、定格 3.3Vdc、レーザークラス 1 を使用し、本機と SFP 対応ネットワークスイッチ間で接続してください。



SFP モジュールと光ファイバーケーブルの種類により、延長距離が異なります。
NETGEAR、Cisco 製ネットワークで検証済み SFP モジュールは下記の通りです。

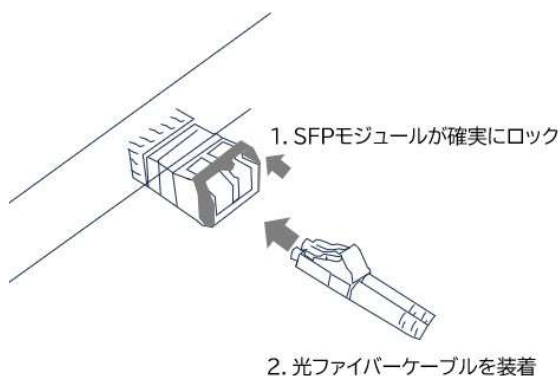
ネットワークスイッチ	SFP モジュール	使用光ファイバーケーブル 及び最大延長距離(目安)
NETGEAR 製 M4250 シリーズ	NETGEAR 製 1000BASE-LX(AGM732F)	9/125 μ m OS2 MMF 最大 10km
	NETGEAR 製 1000BASE-SX(GM731F)	50/125 μ m OM2/3 MMF 最大 550m
Cisco 製 CBS350 シリーズ	FS JAPAN 製 SFP1G-SX-85	50/125 μ m OM2 MMF 最大 550m
	FS JAPAN 製 SFP-10GSR-85	50/125 μ m OM3 MMF 最大 300m 50/125 μ m OM4 MMF 最大 400m

重要

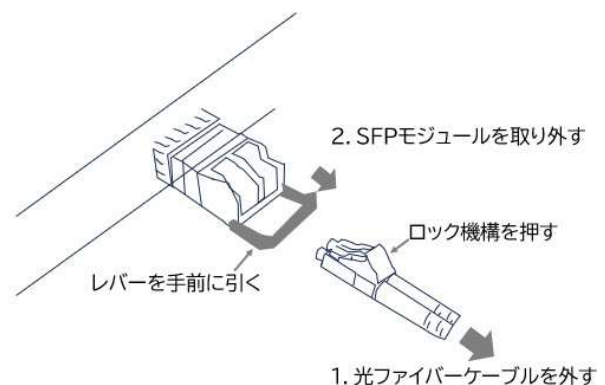
SFP モジュールに使用する光ファイバーケーブル、延長距離などについて、各 SFP モジュールメーカーにご確認ください。
通信エラーが生じる可能性があるので、LAN ケーブルと SFP モジュール・光ケーブルを同時接続しないでください。

SFP モジュールの装着方法

SFPモジュールを装着

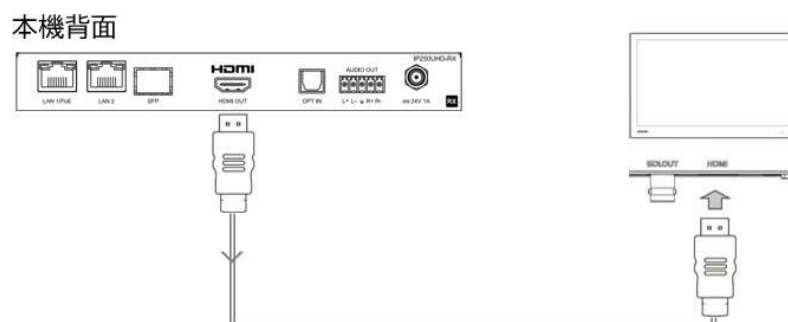


SFPモジュールを取り外す



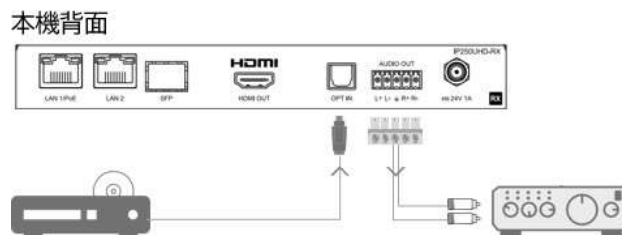
HDMI ケーブル接続

HDMI タイプ A(オス)のケーブルで、本機とディスプレイ機器間で接続してください。



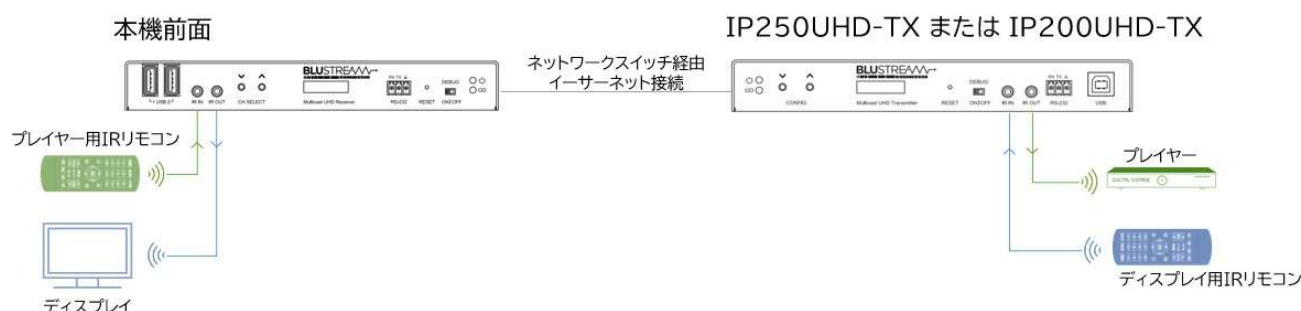
オーディオケーブル接続

オーディオケーブルを使用し、本機とオーディオ機器間で接続してください。



IR 送/受信ケーブル接続

付属の 5V IR 受信ケーブル(IRR)、5V IR 送信ケーブル(IRE)を本機前面の IR 信号受信 3.5mm ステレオジャック、IR 信号送信 3.5mm モノラルジャックにそれぞれ接続し、ご利用ください。



い。

ご注意

IR リモコンを本体の IR IN 端子に接続した 5V IR レシーバ(IRR)の受光部へ向けて操作してください。操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識できない場合があります。また、受光部に強い光が当たっている状態だと、リモコン信号を正しく認識しない場合があります。なお、IR リモコンは、押下し続けても連続せず、1 回の IR 信号受信として認識します。

USB 接続

本機は USB マウス、キーボードの信号を延長という用途となります。USB タイプ A(オス)コネクタを搭載している USB1.1 対応のデバイスを本機前面の USB ポートに接続してください。



シリアル(RS-232)通信接続

付属の 3 ピンターミナルブロックを使用して、本機とシリアル(RS-232)通信機器間で接続してください。

本機前面

IP250UHD-TX または IP200UHD-TX



シリアル(RS-232)通信の初期設定は下記の通りです。

項目	設定値
ボーレート	115200
データビット	8 ビット
パリティ	なし(None)
ストップビット	1 ビット
フローコントロール	なし(None)

ACM200 のウェブ GUI で、ボーレートを含むシリアル(RS-232)通信設定を変更できます。詳しい設定方法は ACM200 の取扱説明書を参照してください。

本体操作

電源を入れる/切る

本機への電源供給方法は PoE 電源入力または AC アダプター(取扱無し)電源入力の 2 つの方法があります。

ご注意

本機への PoE と DC 電源入力は同時に行わないでください。また、本機には IEEE802.3af または 802.3at に非対応の PoE 電源供給機器は絶対に使用しないでください。故障の原因になる場合があります。
本機の電源を入切する時は、接続する機器及び本機の音量を最小に下げてください。

電源を入れる手順

1. 本機に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認したうえ、LAN ケーブルやターミナルブロックの結線を行います。(本機への電源供給はまだ行わないでください)
2. 本機への電源供給を開始します。
3. ソース機器 → 出力機器の順に電源を入れます。

電源を切る手順

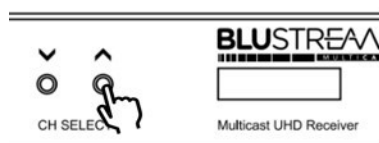
1. 出力機器 → ソース機器の順に電源を切ります。
2. 本機への DC 電源供給を終了します。
3. 本機に接続する LAN ケーブルやターミナルブロックを外します。

ステータス情報の確認

本機の前面パネル操作で、本機の ID 番号、受信している送信機、本機の IP アドレス、現在受信している送信機の ID 番号などのステータス情報を確認できます。

ステータス情報の確認方法

前面パネルにある CH CELECT ▲ ▼ボタンのどちらを押すと、ディスプレイが点灯され、ステータス情報が表示されます。



RX: ID 001
TX: ID 001

…当受信機ID
…受信している送信機ID

RX: IP 169.254.6.1
TX: IP 169.254.3.1

…当受信機のIPアドレス
…受信している送信機のIPアドレス

RX: Receiver 001
TX: Transmitter 001

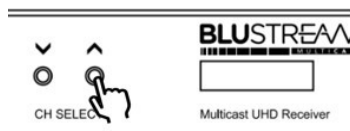
…当受信機のデバイス名
…受信している送信機のデバイス名

入力ソースの切り替え

本機の前面パネル操作で入力ソースを切り替えすることができます。

入力ソースの切り替え方法

前面パネルにある CH CELECT ▲ ▼ボタンのどちらを押し、ディスプレイが点灯された後、CH CELECT ▲ ▼ボタンで受信する入力ソース(受信機の番号)を切り替えすることができます。切り替え可能な送信機 ID 番号の範囲は 1～99 までとなります。それ以外の送信機を切り替えたい場合は ACM200 のウェブ GUI またはシリアル(RS-232)通信で制御コマンド送信で行ってください。



RX: ID 001
TX: ID 001

…当受信機ID
…受信している送信機ID

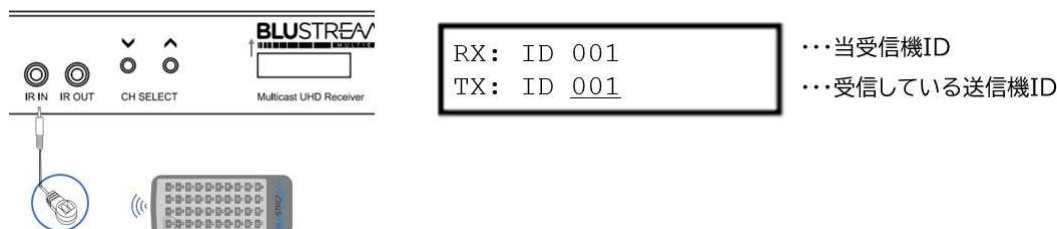
リモコン(別売り)で入力ソースの切り替え操作

別売りのリモコン(REM100)を当送信機の入力ソース(デバイス ID 1～80 まで)切り替えを行うことができます。

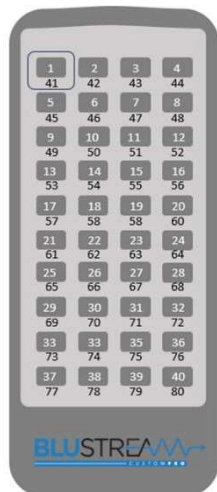
操作方法

本機の前面パネルにある IR IN (IR 信号受信 3.5mm ステレオジャック)に付属の 5V IR レシーバ (IRR)を接続します。

別売りのリモコン(REM100)を 5V IR 受信ケーブル(IRR)の受光部に向け、入力ソースにあたる送信機の ID 番号を押し、入力ソースを切り替えます。



リモコン(REM100)の操作方法



入力ソースのデバイス ID 1 ～ 40 までは、リモコンボタン 1 ～ 40 を使用して選択します。

入力ソースのデバイス ID 41 ～ 80 を選択するには、“二次制御モード”に入る必要があります。

リモコンボタン 1 を約 5 秒間押し続けると、“二次制御モード”に入り、リモコンボタン 1 ～ 40 を押すことで、デバイス ID 41 ～ 80 の入力ソースを選択できます。(例: リモコンボタン 10 → デバイス ID 50)

“二次制御モード”から通常モードに戻るには、リモコンボタン 1 を再度 5 秒間押し続けてください。

ご注意

IR リモコンを本体の IR In 端子に接続した 5V IR 受信ケーブル(IRR)の受光部へ向けて操作してください。操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識できない場合があります。また、受光部に強い光が当たっている状態だと、リモコン信号を正しく認識しない場合があります。なお、IR リモコンは、押し続けても連続せず、1 回の IR 信号受信として認識します。

Dante コントローラー ソフトウェア

概要

本機は、Dante コントローラーソフトウェア(以下 “Dante コントローラー”)を使用してオーディオのルーティングおよび設定を行います。

ダウンロード先

Dante コントローラーは、Audinate 社のウェブサイトから無料でダウンロードできます。ご利用の PC(Windows または macOS)に合わせてインストールしてください。

[https://www.audinate.com/products/software/Dante コントローラーソフトウェア?lang=ja](https://www.audinate.com/products/software/Dante%20コントローラーソフトウェア?lang=ja)

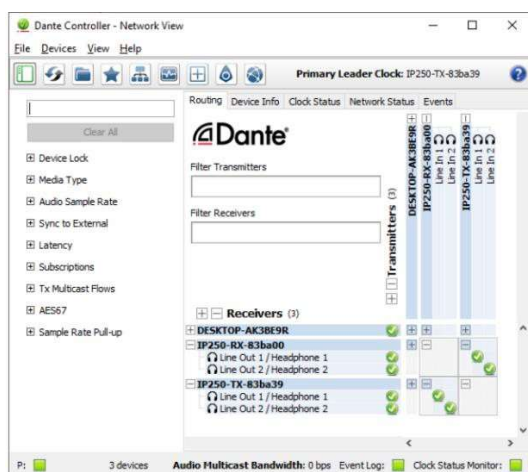
Dante Controller

Dante Controller UI Version: 4.6.0.8
Dante Controller Package Version: 4.6.0.9
Java version: 16.0.1
Common version: 4.0.5
Dante Discovery version: 1.3.1
OS: amd64 10.0

※ 本書は左図のバージョンの Dante コントローラーの操作方法を説明します。ご利用のバージョンによって設定画面、項目が異なる場合があります。予めご了承ください。

本機の検知

本機を Dante ネットワークに接続すると Dante コントローラーは自動的に本機を検知します。Dante コントローラー上では”IP250-RX-xxxxxx”の名称で認識されます。Dante コントローラーの「Routing」画面から Dante エンコーダ(Transmitters)または、デコーダ(Receivers)のルーティング設定を行ってください。



ご注意

Dante コントローラーで設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。Dante エンコーダ(送信機)およびデコーダ(受信機)は、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応していません。Dante 機器は必ずLAN ケーブル介してネットワークへ接続してください。接続する PC は Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

詳細設定

Dante コントローラーの[Device Config]画面の[Device Info]項目より本機の設定変更が可能です。以下の画面では本機のサンプルレート設定が行えます。

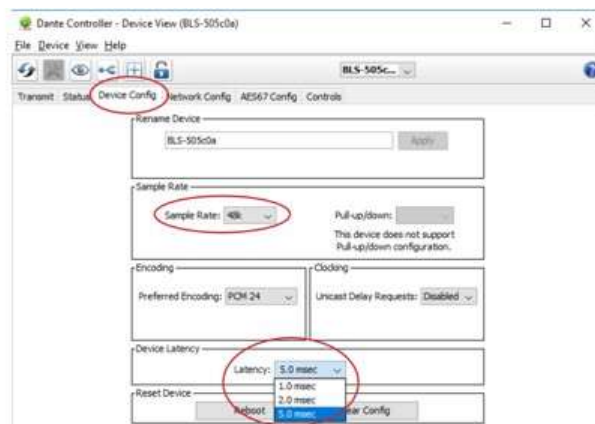
注意！ Dante 製品では、同じサンプルレート値が設定されているエンコーダ(Transmitters)とデコーダ(Receivers)間のみでオーディオ伝送が可能です。接続する他の Dante 機器と同じビット値、およびサンプルレート値で設定されているかご確認ください。

[Network Config]画面では、本機のネットワーク設定も変更可能です。

[Device Config]画面では、本機のデバイス名、サンプリング周波数などの設定も変更可能です。

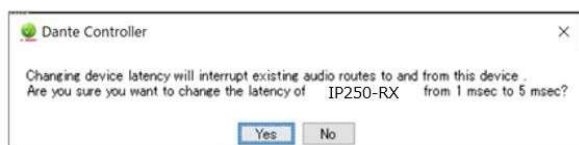


ネットワーク設定



デバイス名、各パラメータの設定

※ 新しいネットワーク設定を適用するため、メニューに従い本機を再起動してください。



よくある質問 FAQ

故障かな？と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

電源がつかない

ネットワークスイッチから十分な PoE 電源供給しているかをスイッチの GUI にて確認してみてください。
AC アダプター(付属・販売しておりません。)をコンセント、および本体にしっかりと奥まで接続してください。

映像が出ない

下記の項目をご確認ください。

- 入力ソース機器から HDMI 信号正常に出ていること
- 受信機と接続しているディスプレイ機器が正常に映像を映していること
- 該当マルチキャストにない送信機の ID に切り替えていないこと
- Blustream マルチキャストシステムに必要なネットワークスイッチの設定項目をすべて設定正常に設定していること(ジャンボフレーム、マルチキャスト、QoS、IGMP スヌーピング、IGMP クエリア、ファストリーブ、PoE 省電力など)
- 伝送する映像ストリーム数に応じて、ネットワークスイッチ間のアップリンク接続の帯域幅を確保していること

Dante コントロールソフトウェアに検出されない

下記の項目をご確認ください。

- 本機の RJ-45 のインジケータの点灯が正常であること
- 接続しているネットワークスイッチの DHCP が有効になっていること
- Dante コントローラーソフトウェアで設定する PC は本機と同じネットワークセグメントに接続されていること
- Dante コントローラーソフトウェアのバージョンが最新であること

Dante コントローラーで設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。Dante エンコーダ(送信機)およびデコーダ(受信機)は、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応していません。Dante 機器は、必ず LAN ケーブルを介してネットワークへ接続してください。接続する PC は Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

Dante コントロールソフトウェアでデバイス名が赤い文字で表示されます

Dante コントローラーソフトウェアで設定する PC のアドレスと Dante 機器の IP アドレスのネットワークアドレスが異なる場合、デバイス名が赤い文字で表示されます。Dante コントローラーで設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。

Dante オーディオ伝送しても Dante デコーダから音が出ない

下記の項目をご確認ください。

- オーディオソース機器の出力音量はミュートになっていないこと
- 2 チャンネル以上のデジタルオーディオが入力されていないこと(2ch 以上のデジタルオーディオには対応していません)
- 本機とサブスクリプションしている Dante エンコーダ機器に異常がないこと
- Dante コントローラーソフトウェア上で、各接続機器のビット値、およびサンプルレート値が一致していること

レシーバが再起動を繰り返す

本機に接続している USB デバイスの消費電力をご確認ください。本機から 5V 300mA(合計値)以上の USB 給電を行うと、本機が再起動を繰り返し、故障の原因になる場合がありますので、ご注意ください。

IR 信号ルーティングが動作しない

IR リモコンを本体の IR In.端子に接続した 5V IR レシーバ(IRR)の受光部へ向けて操作してください。操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識できない場合があります。また、受光部に強い光が当たっている状態だと、リモコン信号を正しく認識しない場合があります。なお、IR リモコンは、押下し続けても連続せず、1 回の IR 信号受信として認識します。

シリアル(RS-232)信号ルーティングが動作しない

下記の項目をご確認ください。

- 本機のシリアル(RS-232)のターミナルブロックのピンアサイン通りに接続していること
- 本機と通信機器するシリアル(RS-232)通信ボーレートなどの設定値が一致していること

主な仕様

製品型番	IP250UHD-RX	
映像・音声入力	LAN/SFP	RJ-45 x2 (LAN 1/PoE:1000Mbps、LAN 2:100Mbps)、SFP スロット x1 (SFP モジュール未搭載、1000Mbps) ^{※9}
		Mode 0 設定時 ^{※10} LAN 1/PoE または SFP:AVoIP ^{※11※12} 信号受信 + Dante オーディオ送受信 LAN 2: 信号無し
		Mode 1 設定時 LAN 1/PoE:AVoIP 信号受信 LAN 2:Dante オーディオ送受信 SFP: 信号無し
		AVoIP 信号 映像:最大解像度 3840x2160 @30Hz 4:4:4、4096x2160 @24Hz 4:4:4、4K @60Hz 4:2:0 対応 音声:PCM 2ch、Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master など HDMI オーディオ対応
		Dante オーディオ信号(AES67 非対応) ^{※13} 2ch、16/24/32 ビット、44.1/48/88.2/96kHz、レイテンシー1/2/5ms
映像・音声出力	HDMI	光デジタル TOSLINK 入力端子 x1 ステレオ L/R のみ対応(Dante オーディオ出力用)
		HDMI タイプ A 出力端子 x1 HDCP1.4/2.2、HDR ^{※14} 、CEC パススルー ^{※15} 対応
		映像:最大解像度 3840x2160 @30Hz 4:4:4、4096x2160 @24Hz 4:4:4、4K @60Hz 4:2:0 対応(スケーラ機能搭載) 音声:AVoIP 音声と Dante オーディオ入力音声から選択 ^{※16}
	LAN/SFP	RJ-45 x2 (LAN 1/PoE:1000Mbps、LAN 2:100Mbps)、SFP スロット x1 (SFP モジュール未搭載、1000Mbps)
		Mode 0 設定時 LAN 1/PoE または SFP:AVoIP 信号受信 + Dante オーディオ送受信 LAN 2: 信号無し Mode 1 設定時 LAN 1/PoE:AVoIP 信号受信 LAN 2:Dante オーディオ送受信(通信速度:100Mbps) SFP: 信号無し Dante オーディオ信号(AES67 非対応) [※] 2ch、16/24/32 ビット、44.1/48/88.2/96kHz、レイテンシー1/2/5ms
その他データ入出力	アナログ	5 ピンターミナルブロック出力端子 x1 ステレオ L/R、バランス/アンバランス
	IR 入力	3.5 mmモノラルミニジャック x1 ^{※17}
	IR 出力	3.5 mmステレオミニジャック x1 ^{※14}
	シリアル (RS-232)	3 ピンターミナルブロック x1 全二重 300/600/1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200bps 対応
	USB/KVM	USB タイプ A x 2 ^{※18} HID クラス相当
制御	LAN/SFP	LAN 1/PoE または SFP
	IR 入力	3.5 mmモノラルミニジャック x1
	HDMI	1080p@60Hz 最大 10m、4K@30Hz 最大 5m

※9 LAN 1/PoE と SFP ポートは相互に排他動作しますので、同時に使用することができません。

※10 ACM200 のウェブ GUI にて動作モード(MODE 0/1)を変更できます。IP250UHD-TX と IP250UHD-RX を同じ動作モードで運用してください。

※11 Blustream IP200UHD-TX、または IP250UHD-TX の AVoIP 信号を受信できます。

※12 AVoIP 信号は映像・音声信号以外に、IR 双方向、シリアル(RS-232)、USB/KVM 信号が含まれます。

※13 Dante エンコーダとデコーダをサブスクリプションする場合、同じビットレート、サンプリング周波数に設定する必要があります。

※14 HDR10、HDR10+、Dolby Vision 非対応。

※15 ACM200 のウェブ GUI にて、CEC を有効に設定してからご利用ください。(初期設定:CEC 無効)

※16 ACM200 のウェブ GUI にて音声を選択できます。

※17 Blustream 社の IR 赤外線製品は全て 5V にて設計されています。他社の IR 赤外線製品をご利用の場合は、5V 対応であることをご確認ください。

※18 接続する前に、USB デバイスの消費電力をご確認ください。本機から 5V 300mA(合計値)以上の USB 給電を行うと、本機が再起動を繰り返し、故障の原因になる場合がありますので、ご注意ください。

伝送距離	RJ-45	伝送距離:CAT5e/6 最長 100m ※ ¹⁹
	SFP	伝送距離は SFP モジュール仕様をご参照ください。
その他仕様	本体寸法 (WxDxH)	190 x 127 x 24mm(突起物含まず)
	本体重量	約 650g
	電源	PoE 802.3af、または DC 24V(AC アダプターは付属しておりません。またオプションもご用意しておりません。) ※外部から電源供給を行う際は、汎用PoEインジェクターのご使用を推奨いたします。
	消費電力	最大 13W
	動作温度	0～40℃
	保存温度	-20～60℃
	動作/保存湿度	10% ～90%(結露のなきこと)
同梱品		IP250UHD-RX 本体 x 1 / IR 受信ケーブル(IRR)x 1 / IR 送信ケーブル(IRE)x 1 / 5 ピンターミナルブロック x 1 / 3 ピンターミナルブロック x 1 / 専用マウントブラケット(ネジ付き)x 2 / SFP モジュール口用ゴムパッド x 1 / ステッカーx 1 / 使用上の注意・保証書 x1
製品保証		ご購入日より 3 年間
適合認証		FCC Class B/ CE/ RoHS

※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ Audinate®、Audinate のロゴ及び Dante®は、Audinate Pty Ltd の登録商標です。

※ Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio、Dolby Vision、“AAC”ロゴ及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS の特許については <http://patents.dts.com> をご覧ください。DTS 社からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、DTS とシンボルの組み合わせ、DTS:X および DTS:X ロゴは米国およびその他の国における DTS 社の登録商標または商標です。

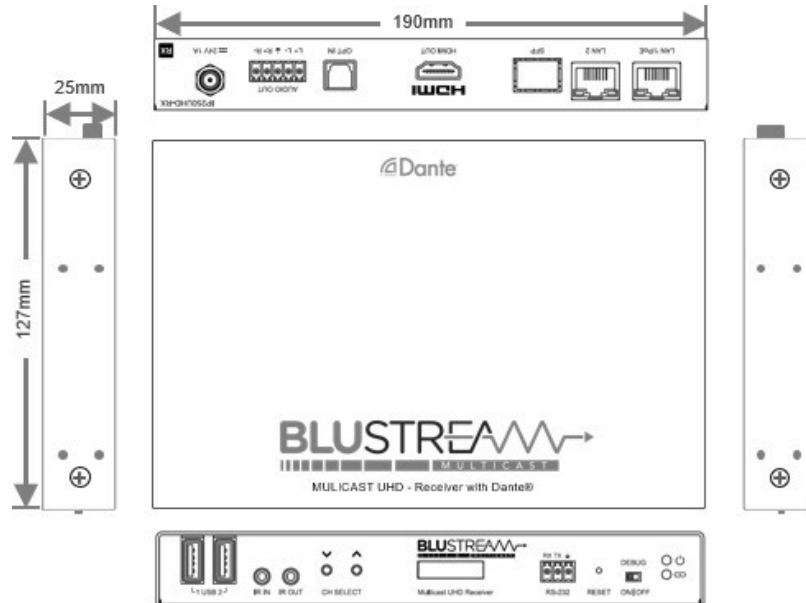
© DTS, Inc. All Rights Reserved.

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

※¹⁹ マルチキャスト製品を接続する CAT ケーブルは、正しい RJ-45 ピン構成で終端してください。リンク CAT ケーブルは「ストレート」(ピン対ピン) CAT ケーブルで、EMI 電磁干渉の影響を受けにくい T568B 結線規格で配線することを推奨します。Blustream 社では CAT6 ケーブルを採用することを推奨しています。特に、長距離を敷設する場合や、EMI の高いエリア、また 4K 信号伝送する場合はカテゴリの高いケーブルをご利用ください。

外形寸法



サポート専用問い合わせ先

・サポート専用ダイヤルまたは専用メールにて問い合わせの前に・・・

「FAQ よくある質問」をご参照ください。

それでも治らない場合：

WEB 問い合わせ： www.ad-techno.com/support/info/contact/

メール問い合わせ： support@ad-techno.com

受付時間：月～金 9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始を除く

お問合せの際は以下内容をご確認下さい。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状)

※可能な限り操作可能な状態でご連絡下さい。

ご注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。